

平成26年度（2014年度）

市民意識調査結果報告書



平成26年9月
南丹市企画政策部 企画調整課

I アンケートの調査の概要

1	調査目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査方法.....	1
4	調査期間.....	1
5	配布状況.....	1
6	調査項目.....	2

II アンケートの調査結果

1	回答者の属性.....	3
2	市民意識調査結果	
1)	南丹市が住みやすいまちだと感じている.....	7
2)	今後も南丹市に住み続けたいと感じている.....	8
3)	安心して医療を受けられる体制だと感じている.....	9
4)	高齢者が安心して暮らせるまちだと感じている.....	10
5)	障がいのある人が安心して暮らせるまちだと感じている.....	11
6)	安心して子育てのできるまちだと感じている.....	12
7)	生徒数、施設の状況も踏まえ、適切な教育環境で学んでいる.....	13
8)	保育や教育が充実していると感じている.....	14
9)	南丹市の商店街（商業）はにぎわっていると感じている.....	15
10)	南丹市で生産された野菜や加工品などの産品を意識して購入している.....	16
11)	南丹市の自然環境が適切に守られていると感じている.....	17
12)	建築物や工作物の色や高さに規制を設けるべきだと感じている.....	18
13)	市政について情報が的確に得られていると感じている.....	19
14)	災害や防犯に関する情報が、市から的確に提供されていると感じている.....	20
15)	災害にそなえて、避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備をしている.....	21
16)	防災の面で安心して暮らせるまちだと感じている.....	22
17)	性別や年齢、国籍などによる差別事象が減っていると感じている.....	23
18)	過去1年間に、人権に関する学習の取り組みをした.....	24
19)	自分の住んでいる地域に活力があると感じている.....	25
20)	さまざまな活動や、市民による自主的な活動に参加している.....	26
21)	風俗や伝統などは、自分たちが引き継いでいかなければならないと感じている..	27
22)	さまざまな分野において、大学などとの交流・連携が活発に行われている.....	28
23)	税金がまちづくりに有効的に活用されていると感じている.....	29

目次

24) 定住を促進するためには、どのようなことに力をいれるべきと感じている.....	30
25) 南丹市が行っている市政運営をどう評価している.....	32
3 市民意識調査結果（市民の意見）	
26) 南丹市が行っている市政運営を評価できない理由.....	33
27) 南丹市のまちづくりに対する提案・意見.....	33

《参考》 まちづくりアンケート調査票



アンケート調査の概要

1 調査目的

本調査は、南丹市総合振興計画後期基本計画を推進するに当たり、市民が日頃感じている事柄や、これからのまちづくりに対する意向など、市民意識を把握し、その結果を基に行政評価や実施計画策定の基礎資料として活用することを目的とする。

2 調査対象

南丹市に住む18歳以上の市民から2,500人を無作為に抽出

3 調査方法

郵送配布・郵送回収

4 調査期間

平成26年5月30日～平成26年6月30日

5 配布状況

年代	性別	アンケート送付数														
		園部			八木			日吉			美山			計		
		均等割	人口割	計	均等割	人口割	計	均等割	人口割	計	均等割	人口割	計	均等割	人口割	計
10歳代	男	20	47	67	20	24	44	20	15	35	20	12	32	80	98	178
	女	20	47	67	20	24	44	20	15	35	20	12	32	80	98	178
20歳代	男	20	47	67	20	24	44	20	15	35	20	12	32	80	98	178
	女	20	47	67	20	24	44	20	15	35	20	12	32	80	98	178
30歳代	男	20	47	67	20	24	44	20	15	35	20	13	33	80	99	179
	女	20	47	67	20	24	44	20	15	35	20	13	33	80	99	179
40歳代	男	20	47	67	20	24	44	20	15	35	20	13	33	80	99	179
	女	20	47	67	20	24	44	20	15	35	20	13	33	80	99	179
50歳代	男	20	47	67	20	24	44	20	15	35	20	13	33	80	99	179
	女	20	47	67	20	24	44	20	15	35	20	13	33	80	99	179
60歳代	男	20	47	67	20	24	44	20	15	35	20	13	33	80	99	179
	女	20	47	67	20	24	44	20	15	35	20	13	33	80	99	179
70歳代以上	男	20	47	67	20	24	44	20	14	34	20	13	33	80	98	178
	女	20	47	67	20	24	44	20	14	34	20	13	33	80	98	178
計	男	140	329	469	140	168	308	140	104	244	140	89	229	560	690	1,250
	女	140	329	469	140	168	308	140	104	244	140	89	229	560	690	1,250
合計		280	658	938	280	336	616	280	208	488	280	178	458	1,120	1,380	2,500

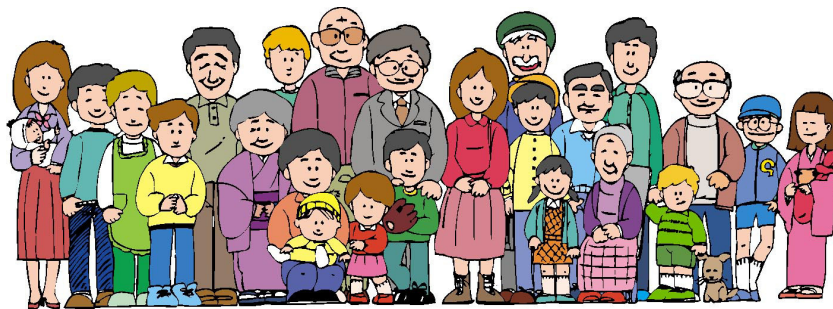
	送付数 (A)	有効回収数 (B)	回収率 (B/A)
今回調査 (H26)	2,500通	939件	37.6%
前回調査 (H25)	2,500通	876件	35.0%

■ アンケート調査の概要

6 調査項目

1. 南丹市全般について
2. 医療・福祉について
3. 子育てについて
4. 商業・生活環境について
5. 防災や防犯について
6. 社会問題について
7. 地域活動について
8. 行政サービスについて
9. 自由意見・提案

※本集計結果については、端数処理の関係で各項目の割合等は必ずしも合計欄等の数値とは一致していない場合があります。



アンケート調査結果

1 回答者の属性

配布数:2,500人 回答数:939人(回答率 37.6%)

今回実施した市民意識調査(まちづくりアンケート)の回答率は、昨年度の調査より 2.6 ポイント増加となりました。

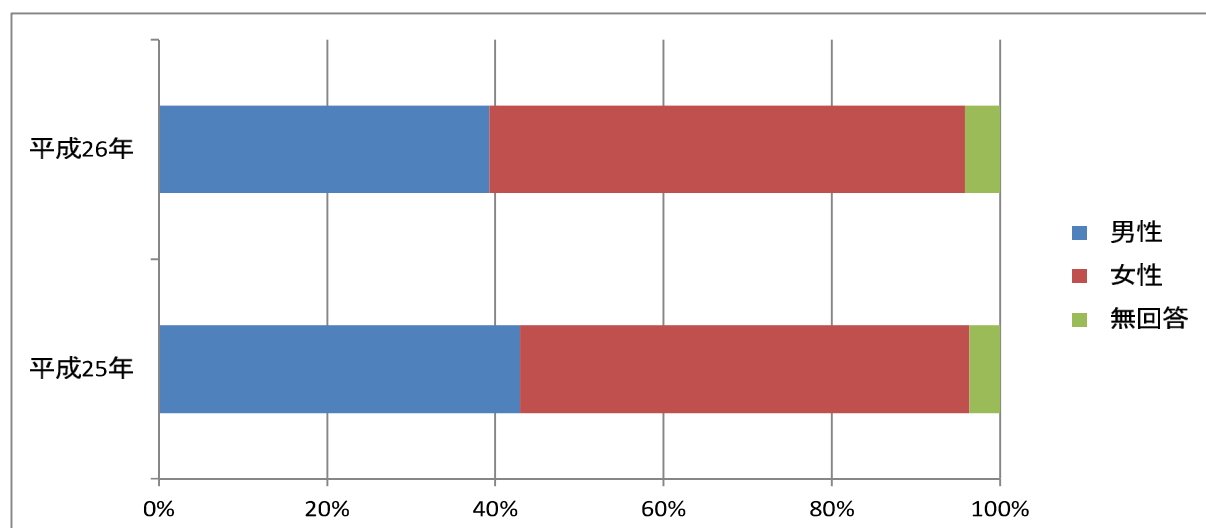
回答者を、男女別・年代別に分析してみると、男性は 30 代の比率が男女の全年代を通じてもっとも低い 7.2%となり、その他は年代が上がるほど比率が高くなる傾向にあります。

一方、女性の場合は、10 代の比率が 6.8%と低く、男女とも 70 歳代以上の比率が最も高いという状況になりました。

また、前回調査との比較では全年代の中で、10 歳代の比率が最も多く減少しています。

性別

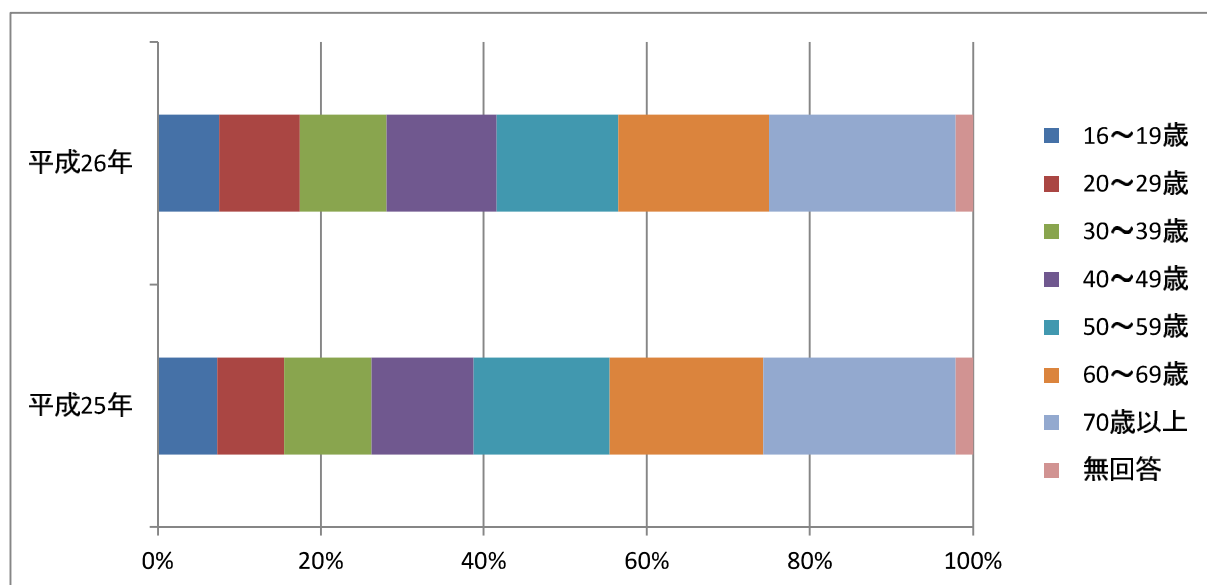
選 択 肢	平成25年		平成26年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
男性	376	42.9	369	39.3
女性	468	53.4	531	56.5
無回答	32	3.7	39	4.2
合計	876	100.0	939	100.0



アンケート調査結果

■ 年齢

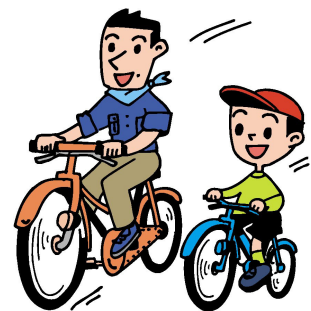
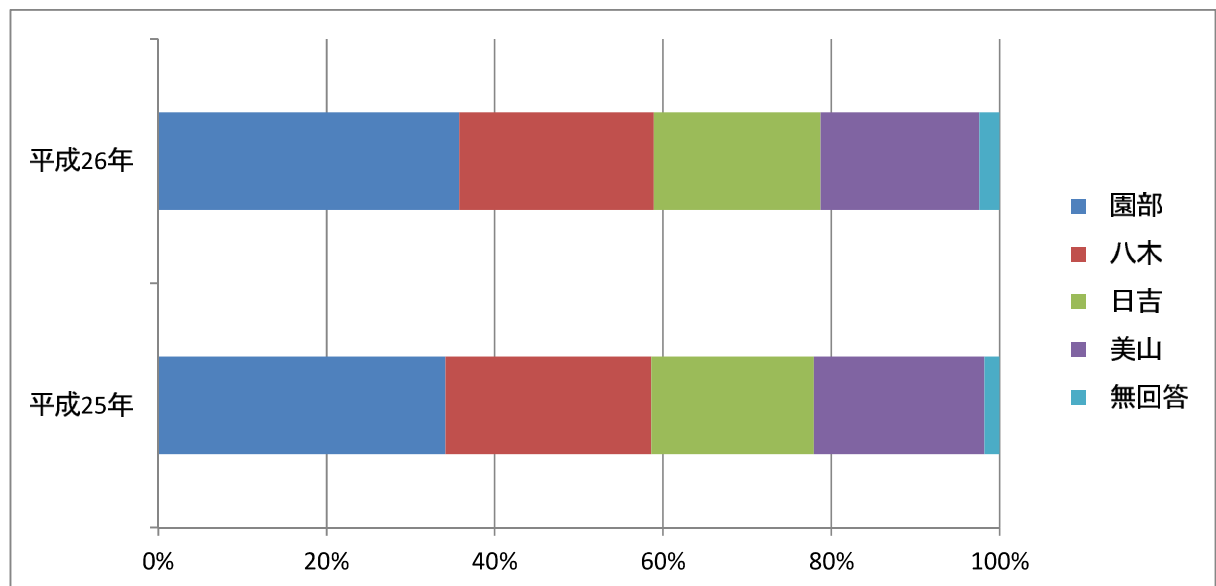
選 択 肢	平成25年		平成26年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
16～19歳	64	7.3	70	7.5
20～29歳	72	8.2	93	9.9
30～39歳	94	10.7	99	10.6
40～49歳	110	12.6	128	13.6
50～59歳	145	16.6	140	14.9
60～69歳	166	18.9	174	18.5
70歳以上	207	23.6	215	22.9
無回答	18	2.1	20	2.1
合計	876	100.0	939	100.0



II アンケート調査結果

住所

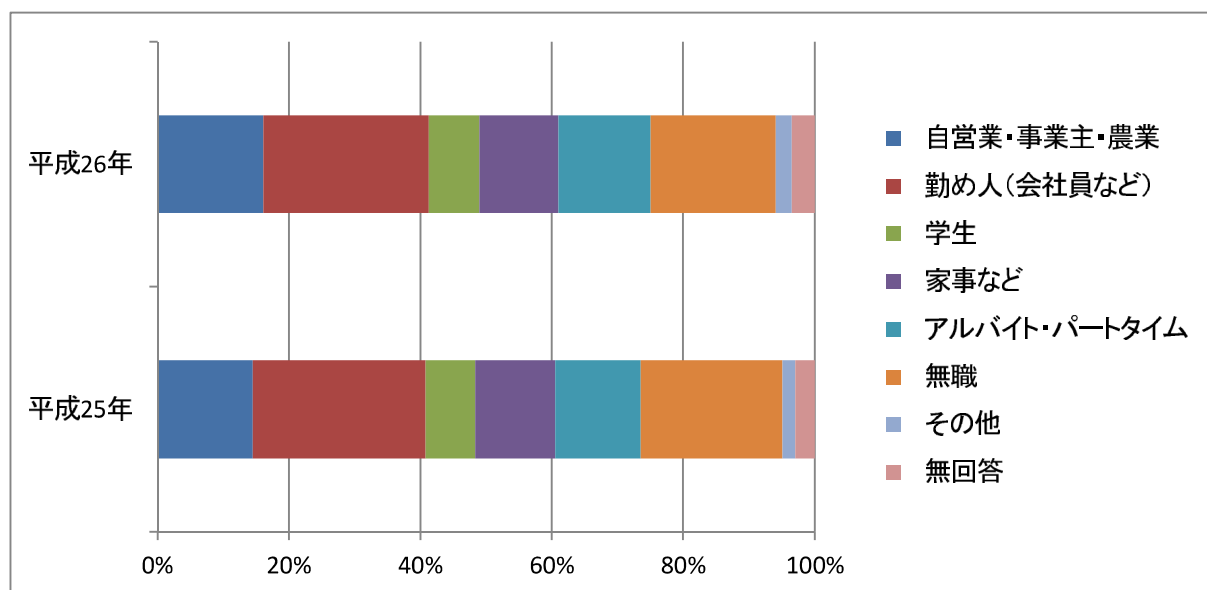
選 択 肢	平成25年		平成26年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
園部	299	34.2	336	35.8
八木	214	24.4	217	23.1
日吉	169	19.3	186	19.8
美山	178	20.3	177	18.9
無回答	16	1.8	23	2.4
合計	876	100.0	939	100.0



アンケート調査結果

職業

選 択 肢	平成25年		平成26年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
自営業・事業主・農業	127	14.5	151	16.1
勤め人(会社員など)	230	26.3	237	25.2
学生	67	7.6	72	7.7
家事など	106	12.1	113	12.0
アルバイト・パートタイム	114	13.0	131	14.0
無職	189	21.6	179	19.1
その他	17	1.9	23	2.4
無回答	26	3.0	33	3.5
合計	876	100.0	939	100.0



II アンケート調査結果

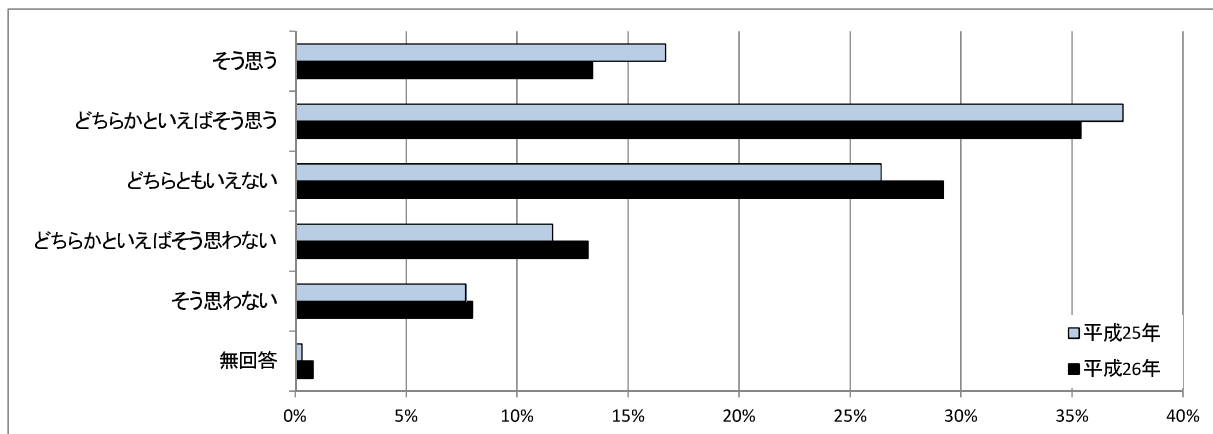
■調査結果の見方

◎この調査結果は、前回に実施した同様のアンケート調査の結果を並べて比較したものです。(単純集計)

1

南丹市が住みやすいまちだと思いますか。

選 択 肢	平成25年		平成26年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	146	16.7	126	13.4
どちらかといえばそう思う	327	37.3	332	35.4
どちらともいえない	231	26.4	274	29.2
どちらかといえばそう思わない	102	11.6	124	13.2
そう思わない	67	7.7	75	8.0
無回答	3	0.3	8	0.8
合計	876	100.0	939	100.0



南丹市は「比較的住みやすいまち」と評価している！

「南丹市が住みやすいまちと思うか」という質問に対して、概ね半数にあたる48.8%の市民の方が「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と答えています。しかし、その割合は平成25年度調査に比べて5.2ポイント減少しています。

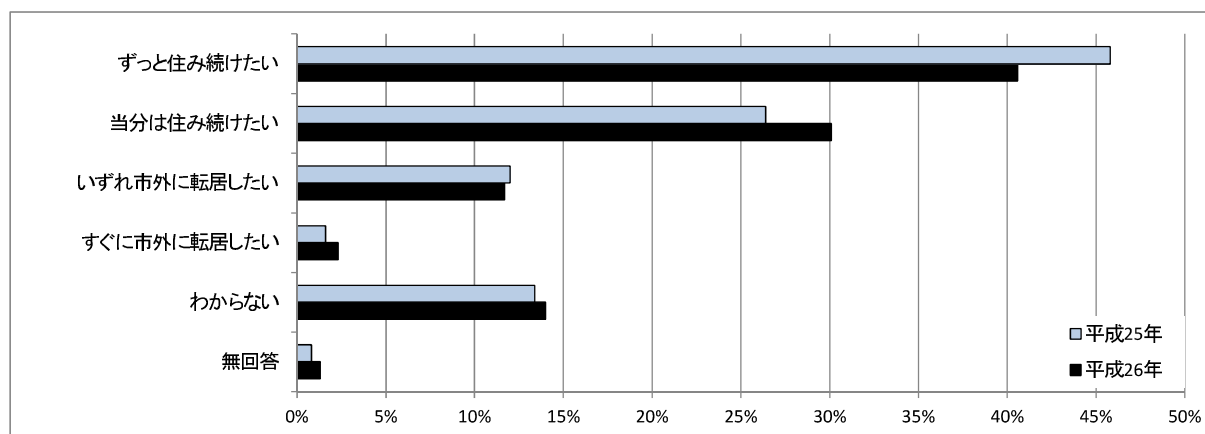
一方、21.2%の市民の方が「住みにくい」または「どちらかといえば住みにくい」と答えており、平成25年度調査に比べて2ポイント増加しています。

II アンケート調査結果

2

今後も南丹市に住み続けたいですか。

選 択 肢	平成25年		平成26年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
ずっと住み続けたい	401	45.8	381	40.6
当分は住み続けたい	231	26.4	283	30.1
いずれ市外に転居したい	105	12.0	110	11.7
すぐに市外に転居したい	14	1.6	22	2.3
わからない	118	13.4	131	14.0
無回答	7	0.8	12	1.3
合計	876	100.0	939	100.0



市民の約7割が「住み続けたい」と回答！

「今後も南丹市に住み続けたいですか」という問いに対して、「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」と答えた方は、全体の70.7%を占めており、平成25年度調査と比べ1.5ポイント減少したものの、多くの市民が「南丹市に住み続けたい」と考えていることが判ります。

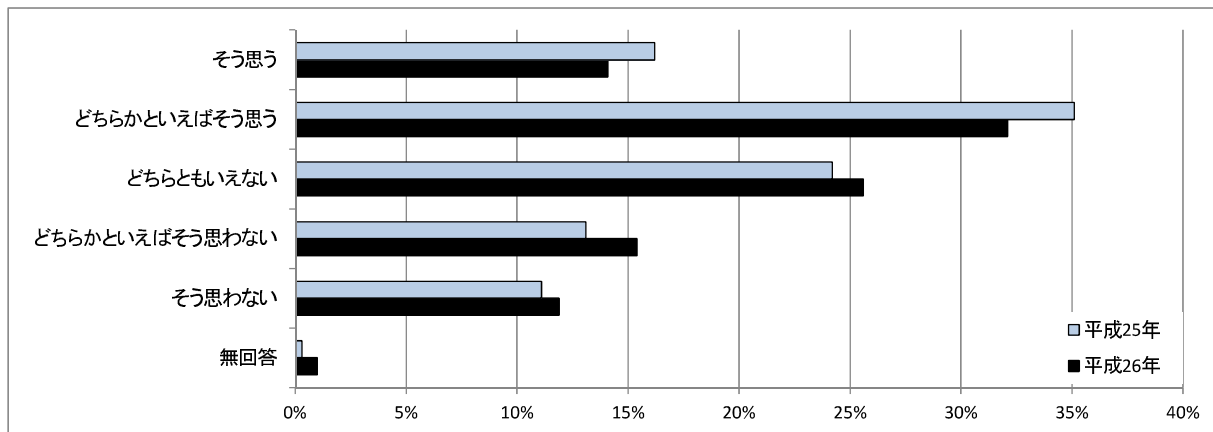
一方で、「いずれ市外に転居したい」「すぐに転居したい」と回答した方は14.0%で、平成25年度調査よりも僅かですが増加しています。

II アンケート調査結果

3

南丹市において、安心して医療を受けられる体制ができていると思われ
ますか。

選 択 肢	平成25年		平成26年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	142	16.2	132	14.1
どちらかといえばそう思う	307	35.1	301	32.1
どちらともいえない	212	24.2	240	25.6
どちらかといえばそう思わない	115	13.1	145	15.4
そう思わない	97	11.1	112	11.9
無回答	3	0.3	9	1.0
合計	876	100.0	939	100.0



地域により意識に大きな差が生じている！

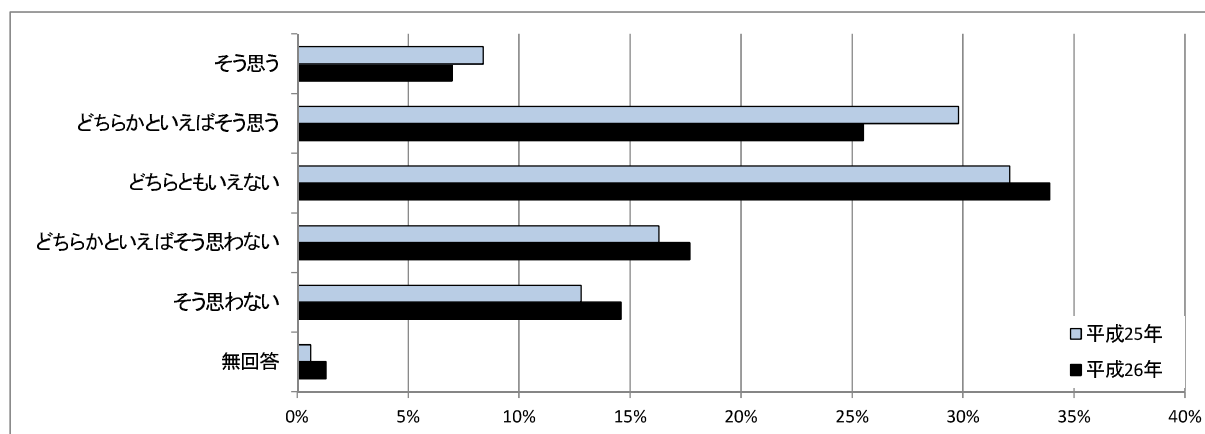
「南丹市において、安心して医療を受けられる体制が整っているか」という問いに対して、46.2%の方が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と答えた人の割合は27.3%となっています。

住所別で見た場合、園部、八木地域では50%以上の方が、また日吉地域でも43.5%の方が「安心して医療を受けられる体制が整っている」と感じているのに対し、美山では28.8%という状況で、逆に「そう思わない」方の割合が50%近くになっています。

4

南丹市が高齢者にとって、安心して暮らせるまちだと思われませんか。

選 択 肢	平成25年		平成26年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	74	8.4	66	7.0
どちらかといえばそう思う	261	29.8	240	25.5
どちらともいえない	281	32.1	318	33.9
どちらかといえばそう思わない	143	16.3	166	17.7
そう思わない	112	12.8	137	14.6
無回答	5	0.6	12	1.3
合計	876	100.0	939	100.0



若年層ほど高齢者が暮らしにくいまちだと思っている！

「南丹市が高齢者にとって、安心して暮らせるまちか」という問いに対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた方は32.5%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と答えた人の割合は32.3%と、ほぼ同数となっています。

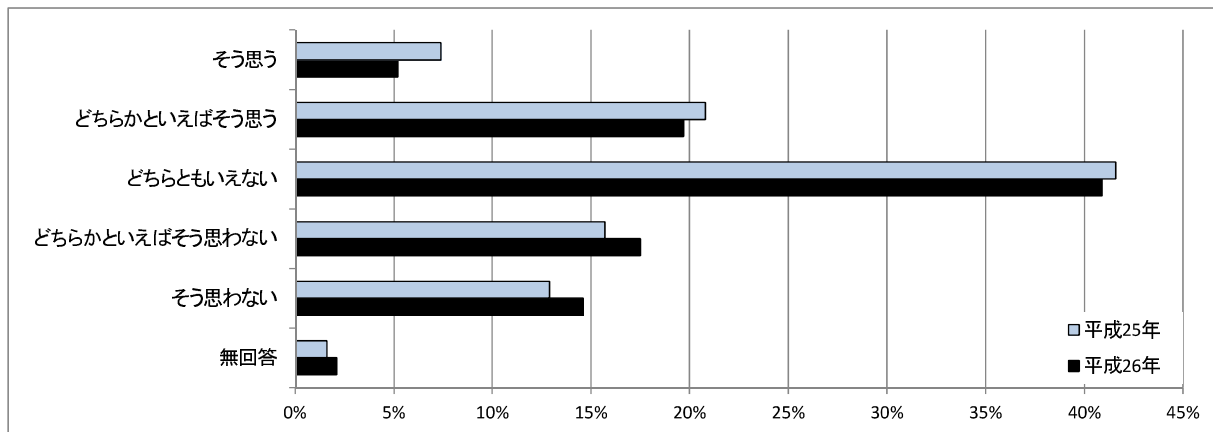
地域別に見ると、「暮らしやすい」と答えた方の割合は、園部、八木、日吉で30%を超えているのに対し、美山では24.3%という状況です。また、年齢別に見ると、「暮らしやすい」と答えた方の割合は40歳代以上では30%を超えているのに対して、30歳代は28.2%、20歳代では25.8%と、若年層ほど低くなっています。

II アンケート調査結果

5

南丹市が障がいのある方にとって、安心して暮らせるまちだと思えますか。

選 択 肢	平成25年		平成26年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	65	7.4	49	5.2
どちらかといえばそう思う	182	20.8	185	19.7
どちらともいえない	364	41.6	384	40.9
どちらかといえばそう思わない	138	15.7	164	17.5
そう思わない	113	12.9	137	14.6
無回答	14	1.6	20	2.1
合計	876	100.0	939	100.0



市民の約3割が「安心して暮らせるとは思わない」と回答！

「南丹市が障がいのある方にとって、安心して暮らせるまちか」という問いに対して、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と答えた方は24.9%、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と答えた方は32.1%でした。

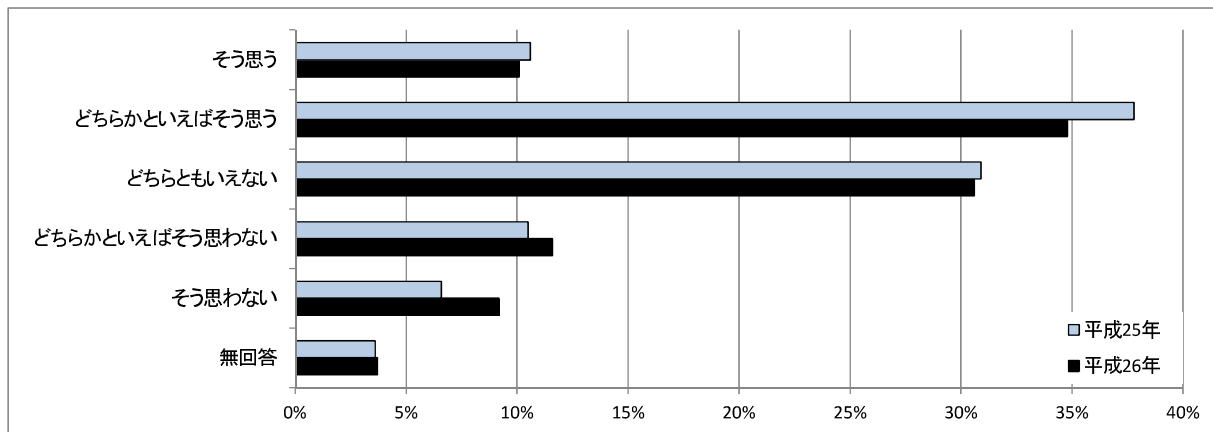
H25年度調査と比較すると、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と感じている方は3.3ポイント減少し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」方が3.5ポイント増加しています。

II アンケート調査結果

6

南丹市が安心して子育てのできるまちだと思われませんか。

選 択 肢	平成25年		平成26年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	93	10.6	95	10.1
どちらかといえばそう思う	331	37.8	327	34.8
どちらともいえない	271	30.9	287	30.6
どちらかといえばそう思わない	92	10.5	109	11.6
そう思わない	58	6.6	86	9.2
無回答	31	3.6	35	3.7
合計	876	100.0	939	100.0



市民の4割以上が「安心して子育てができるまち」と回答！

「南丹市が、安心して子育てのできるまちか」という問いに対して、44.9%の方が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えており、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の20.8%と大きな差がありました。

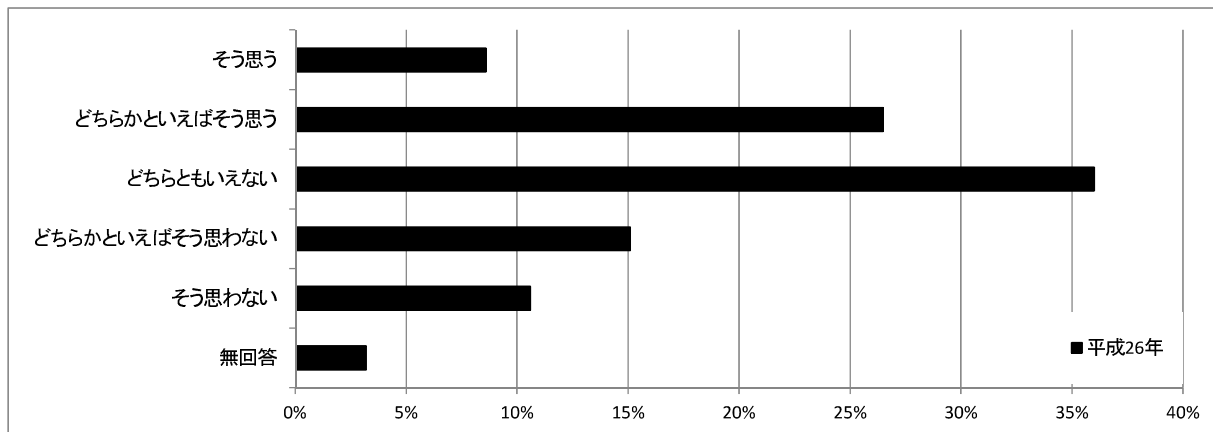
しかし、そう思うと答えた方が平成25年度調査から3.5ポイント減少したのに対し、そう思わないと答えた方は3.7ポイント増加しています。

アンケート調査結果

7

あなたは、子どもたちが、児童数や生徒数、施設の状況も踏まえ、適切な教育環境で学んでいると思えますか。

選 択 肢	-		平成26年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う			81	8.6
どちらかといえばそう思う			249	26.5
どちらともいえない			338	36.0
どちらかといえばそう思わない			142	15.1
そう思わない			99	10.6
無回答			30	3.2
合計	0	0.0	939	100.0



教育環境の捉え方は地域によって異なる！

「学んでいる」または「どちらかといえば学んでいる」と回答した方の割合は35.1%と、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と回答し方の割合よりも約10ポイント多い結果となりました。

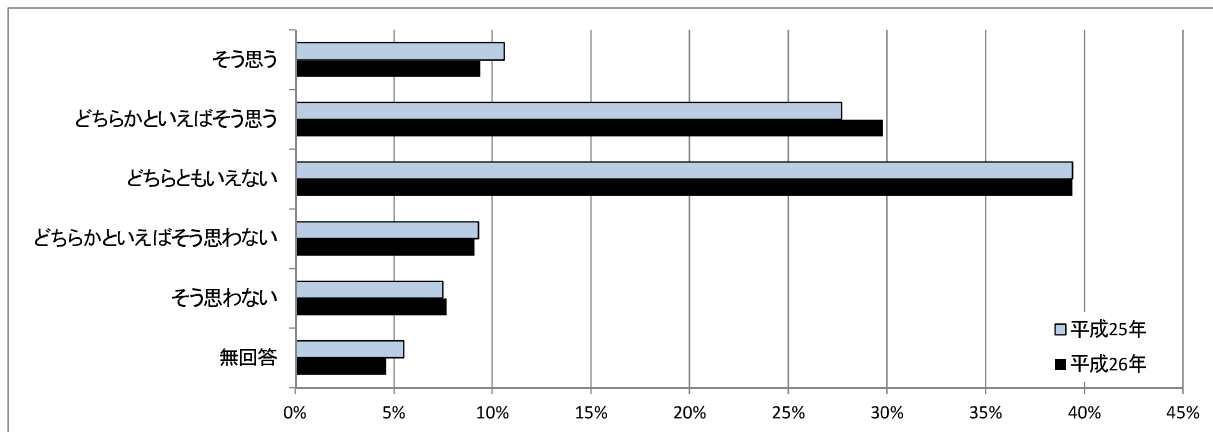
地域別に見ると、「学んでいる」または「どちらかといえば学んでいる」と答えた方の割合は、園部 39.9%、日吉 38.27%、美山 34.5%、八木 25.8%という結果でした。一方、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と答えた方の割合は、園部 20.5%、日吉 22.0%、美山 32.8%、八木 31.8%という状況でした。

アンケート調査結果

8

保育所や幼稚園などで行われている乳幼児への保育・教育が充実していると思われませんか

選 択 肢	平成25年		平成26年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	93	10.6	88	9.4
どちらかといえばそう思う	243	27.7	280	29.8
どちらともいえない	345	39.4	370	39.4
どちらかといえばそう思わない	81	9.3	86	9.1
そう思わない	66	7.5	72	7.7
無回答	48	5.5	43	4.6
合計	876	100.0	939	100.0



市民の約4割が「保育・教育が充実している」と回答！

「乳幼児への保育・教育が充実していると思われませんか」という問いに対して、39.2%の方が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えており、平成25年度調査より0.9ポイント増えました。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した方は、16.8%とほとんど差はありませんでした。

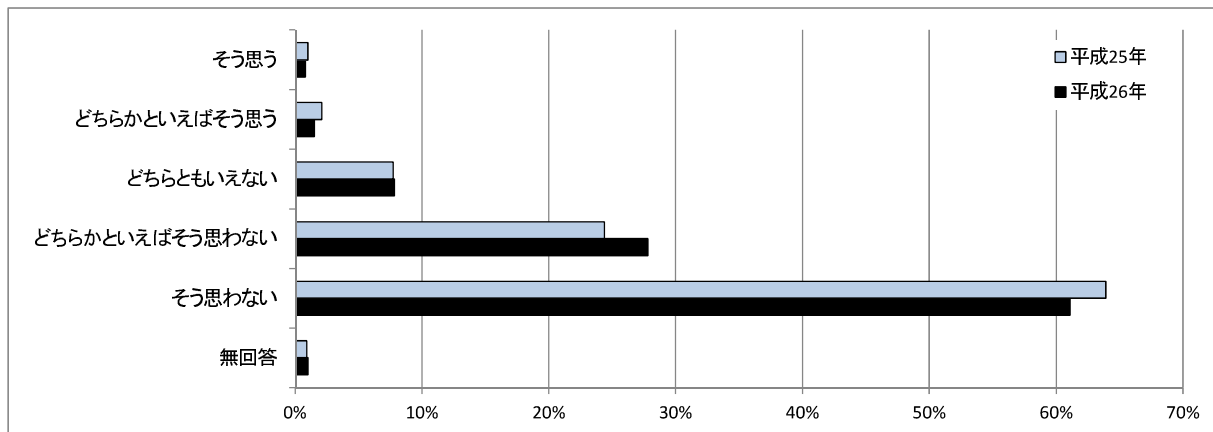
しかし、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えられた方と同割合の39.4%の方が「どちらともいえない」と答えられている状況もあります。

II アンケート調査結果

9

南丹市の商店街(商業)がにぎわっていると思われませんか。

選 択 肢	平成25年		平成26年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	9	1.0	8	0.8
どちらかといえばそう思う	18	2.1	14	1.5
どちらともいえない	67	7.7	73	7.8
どちらかといえばそう思わない	214	24.4	261	27.8
そう思わない	560	63.9	574	61.1
無回答	8	0.9	9	1.0
合計	876	100.0	939	100.0



市民の80%超の方が「にぎわっていると思わない」と回答！

「南丹市の商店街(商業)がにぎわっていると思うか」という問いでは、61.1%の方が「そう思わない」と回答されており、「どちらかといえばそう思わない」を含めると88.9%になり、80%を超える大多数の方が、商店街はにぎわっているとは思えないと感じています。

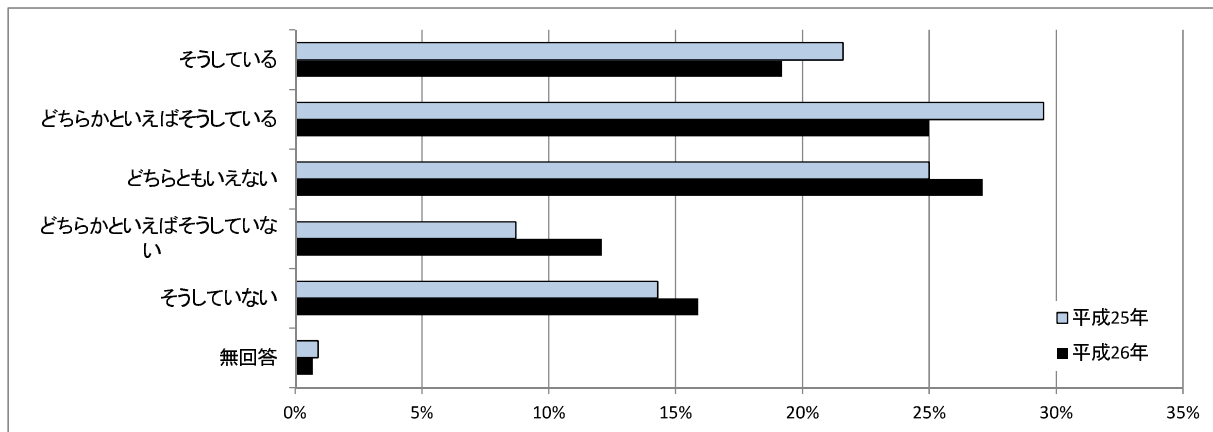
なお、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と答えた方は、わずか2.4%と、平成25年度調査よりもさらに0.7ポイント減っている状況です。

アンケート調査結果

10

南丹市で生産された野菜や加工品などの産品を意識して購入されていますか。

選 択 肢	平成25年		平成26年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そうしている	189	21.6	180	19.2
どちらかといえばそうしている	259	29.5	235	25.0
どちらともいえない	219	25.0	254	27.1
どちらかといえばそうしていない	76	8.7	114	12.1
そうしていない	125	14.3	149	15.9
無回答	8	0.9	7	0.7
合計	876	100.0	939	100.0



地元産品を意識して購入されている方が激減！

「南丹市で生産された野菜や加工品などの産品を意識して購入されていますか」という問いに対して、「そうしている」または「どちらかといえばそうしている」と回答した方は44.2%で、平成25年度調査よりも7ポイント減少しました。

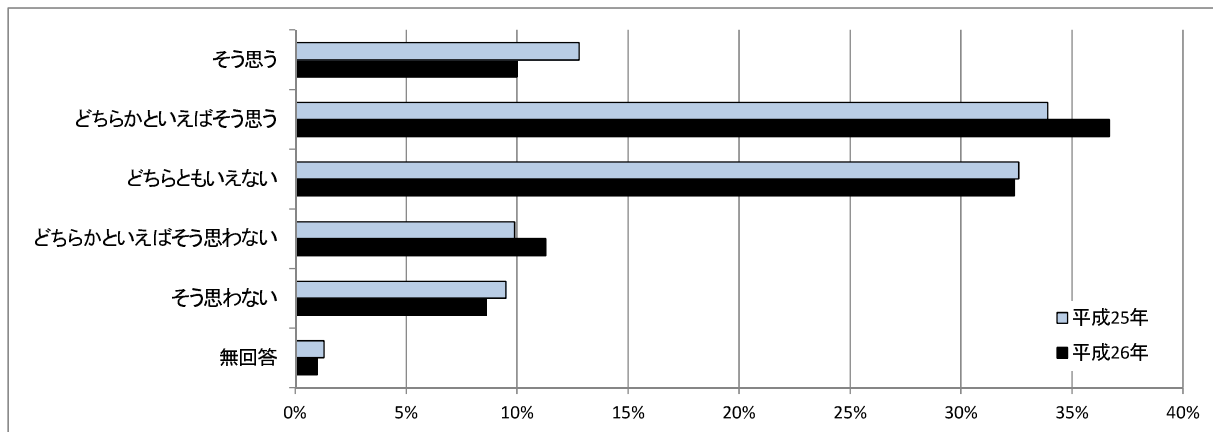
また、「そうしている」という方の割合が、平成25年度調査よりも2.4ポイント減少する状況の中で、「そうしていない」という方の割合は1.6ポイント増加しています。

II アンケート調査結果

11

南丹市において、自然環境が適切に守られていると思われませんか。

選 択 肢	平成25年		平成26年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	112	12.8	94	10.0
どちらかといえばそう思う	297	33.9	345	36.7
どちらともいえない	286	32.6	304	32.4
どちらかといえばそう思わない	87	9.9	106	11.3
そう思わない	83	9.5	81	8.6
無回答	11	1.3	9	1.0
合計	876	100.0	939	100.0



市民の約2人に1人が「自然は守られている」と回答！

「南丹市において、自然環境が適切に守られているか」という問いでは、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は46.7%で、平成25年度調査と同じ割合になりました。

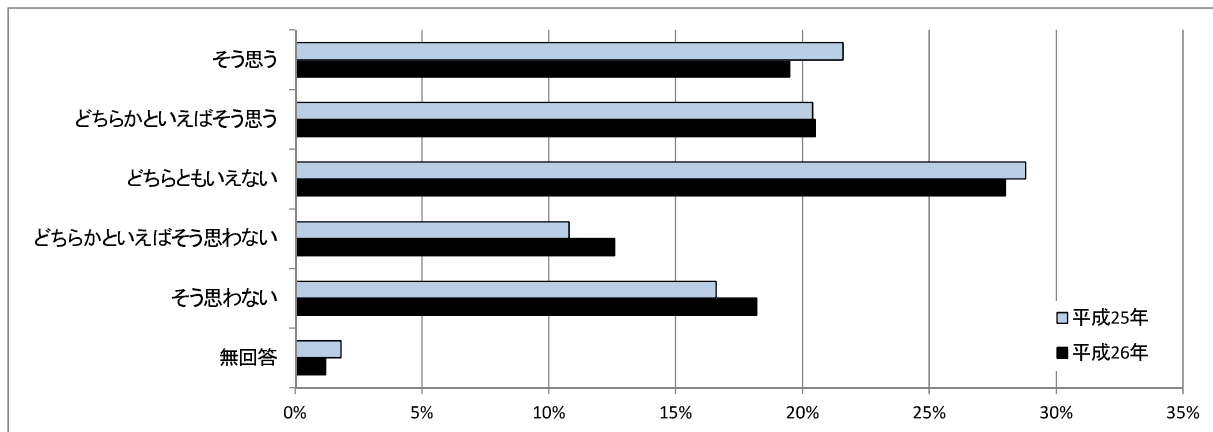
一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した方は19.9%と、平成25年度調査とほぼ同じ割合となり、割合からすると「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した方が大きく上回っています。

II アンケート調査結果

12

南丹市において、美しい風景や町並みを守るため、個人などが新築、増改築する建築物や工作物の色や高さに規制を設けるべきだと思われませんか。

選 択 肢	平成25年		平成26年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	189	21.6	183	19.5
どちらかといえばそう思う	179	20.4	193	20.5
どちらともいえない	252	28.8	263	28.0
どちらかといえばそう思わない	95	10.8	118	12.6
そう思わない	145	16.6	171	18.2
無回答	16	1.8	11	1.2
合計	876	100.0	939	100.0



市民の4割が「景観を守る規制が必要」と回答！

「南丹市の美しい風景や町並みを守るため、個人などが新築、増改築する建築物や工作物の色や高さに規制を設けるべきか」との問いには、40.0%の方が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しています。

「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」の30.8%を10ポイント近く上回りました。

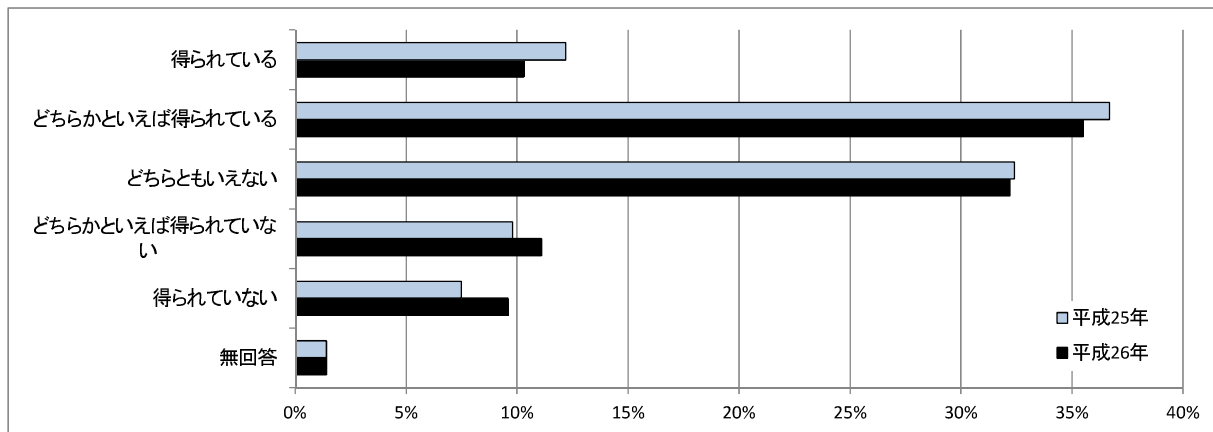
しかし、平成25年度調査と比較すると、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と回答した方が、3.4ポイント増える結果となりました。

II アンケート調査結果

13

南丹市が発行する広報誌やホームページ、CATVなどを通じて、市政について情報が的確に得られていると感じられますか。

選 択 肢	平成25年		平成26年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
得られている	107	12.2	97	10.3
どちらかといえば得られている	321	36.7	333	35.5
どちらともいえない	284	32.4	302	32.2
どちらかといえば得られていない	86	9.8	104	11.1
得られていない	66	7.5	90	9.6
無回答	12	1.4	13	1.4
合計	876	100.0	939	100.0



「市の情報が得られている」との回答は約半数！

「市政について情報が的確に得られているか」という問いに対して、10.3%の方が「得られている」と回答されています。「どちらかといえば得られている」と回答した方を含めると45.8%になり、平成25年度調査よりも約3ポイント減少したものの、およそ半数の方が市政に関する情報が得られていると回答していることとなります。

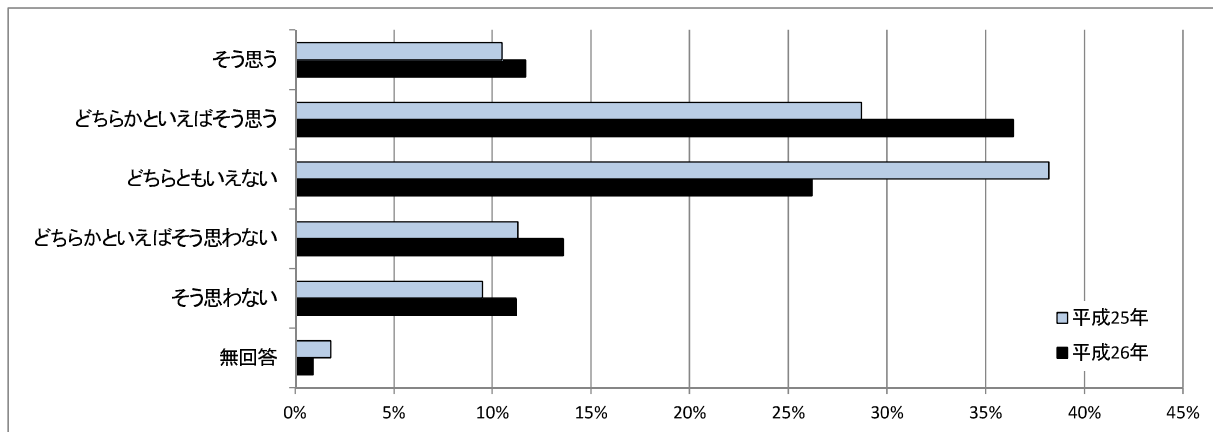
一方で、「得られていない」「どちらかといえば得られていない」と回答された方は20.7%と、平成25年度調査より約3ポイント増加しています。

II アンケート調査結果

14

災害に関する情報について、市からの確に発信される体制が整備されていると思われませんか。

選 択 肢	平成25年		平成26年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	92	10.5	110	11.7
どちらかといえばそう思う	251	28.7	342	36.4
どちらともいえない	335	38.2	246	26.2
どちらかといえばそう思わない	99	11.3	128	13.6
そう思わない	83	9.5	105	11.2
無回答	16	1.8	8	0.9
合計	876	100.0	939	100.0



半数の方が災害情報発信体制が整っていると回答！

「災害に関する情報について、市からの確に発信される体制が整備されているか」という問いでは、およそ半数にあたる48.1%の方が「整っている」または「どちらかといえば整っている」と回答されており、平成25年度調査に比べ約9ポイント増加しています。

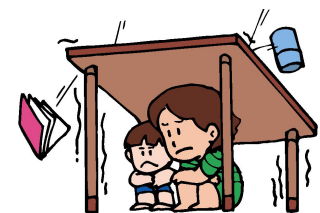
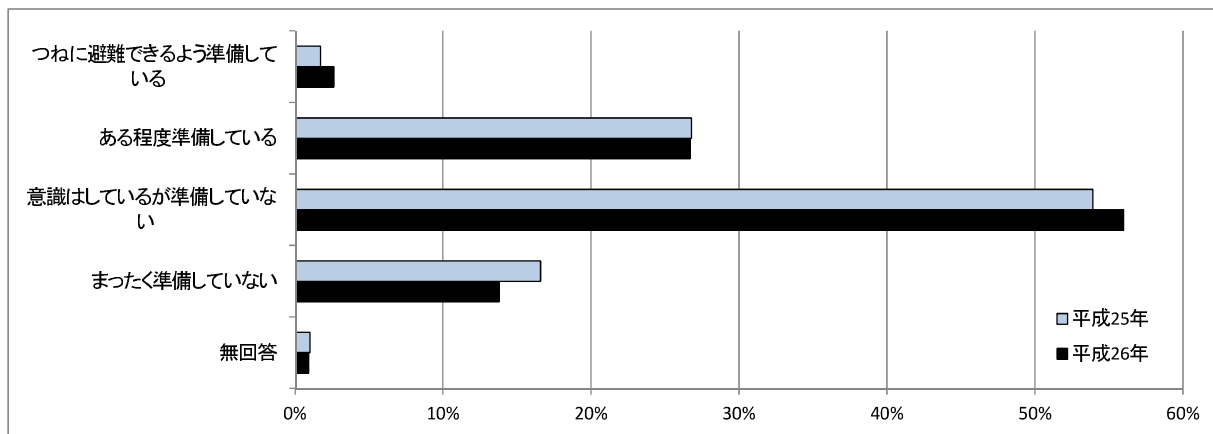
しかし、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と回答した方も、およそ4分の1の24.8%にあり、平成25年度調査と比較すると4ポイント増加しています。

アンケート調査結果

15

台風や地震などの災害に備えて、避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備などをされていますか。

選 択 肢	平成25年		平成26年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
つねに避難できるよう準備している	15	1.7	24	2.6
ある程度準備している	235	26.8	251	26.7
意識はしているが準備していない	472	53.9	526	56.0
まったく準備していない	145	16.6	130	13.8
無回答	9	1.0	8	0.9
合計	876	100.0	939	100.0



避難の準備していない方が約7割！

「災害に備えて、避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備はしているか」の問いに対して、「している」と答えた方は、平成25年度調査よりも増えたもののわずか2.6%、「ある程度している」と答えた方を含めても29.3%でした。

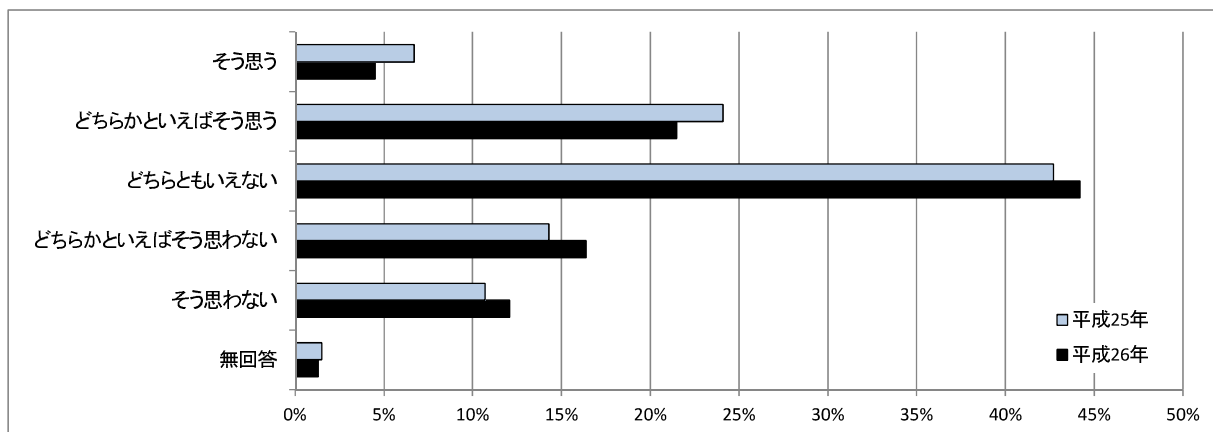
一方、半数を超える56.0%の方が「意識はしているが準備はしていない」と回答されており、「まったく準備していない」と回答された方も含めると、69.8%の方が避難の準備をされていないこととなります。

II アンケート調査結果

16

南丹市が防災の面で、安心して暮らせるまちだと思われませんか。

選 択 肢	平成25年		平成26年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	59	6.7	42	4.5
どちらかといえばそう思う	211	24.1	202	21.5
どちらともいえない	374	42.7	415	44.2
どちらかといえばそう思わない	125	14.3	154	16.4
そう思わない	94	10.7	114	12.1
無回答	13	1.5	12	1.3
合計	876	100.0	939	100.0



「南丹市は防災の面で安心できる」?!

「南丹市が防災の面で安心して暮らせるまちか」という問いでは、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は26.0%と、平成25年度調査に比べ4.0ポイント近くの減となりました。

一方で、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と回答された方は、平成25年度調査から約3ポイント増え、28.5%となりました。

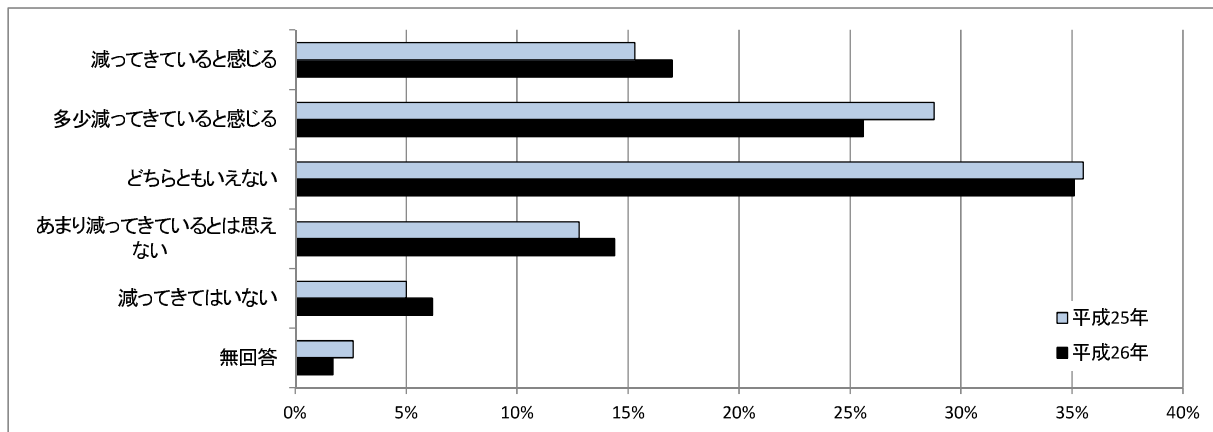
しかし、およそ半数の44.2%の方が「どちらともいえない」と回答されているという現状もあります。

アンケート調査結果

17

まだまだ性別や国籍、身体的障がいなどによる差別が残っていますが、近年南丹市において、これら差別が減ってきているとお感じですか。

選 択 肢	平成25年		平成26年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
減ってきていると感じる	134	15.3	160	17.0
多少減ってきていると感じる	252	28.8	240	25.6
どちらともいえない	311	35.5	330	35.1
あまり減ってきているとは思えない	112	12.8	135	14.4
減ってきてはいない	44	5.0	58	6.2
無回答	23	2.6	16	1.7
合計	876	100.0	939	100.0



差別は減ってきていると感じている方が多い！

「南丹市において、近年、差別が減ってきていると感じるか」という問いでは、42.6%の方が「減ってきていると感じる」または「多少減ってきていると感じる」と回答しており、平成25年度調査に対して1.5ポイント減少しています。

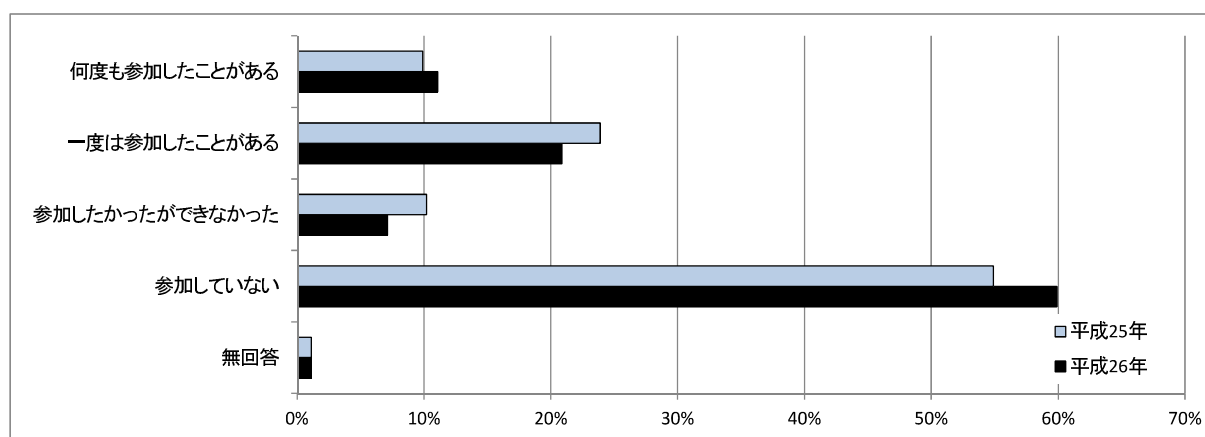
一方、「減ってきてはいない」または「あまり減ってきているとは思えない」と回答された方は、20.6%と全体の割合からすれば少ない状態ですが、平成25年度調査と比較すると2.8ポイント増加している状況です。

アンケート調査結果

18

過去1年間に、人権問題に関する勉強会、学習会、講演会、セミナーなどに参加されたことがありますか。

選 択 肢	平成25年		平成26年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
何度も参加したことがある	87	9.9	104	11.1
一度は参加したことがある	209	23.9	196	20.9
参加したかったができなかった	89	10.2	67	7.1
参加していない	481	54.9	562	59.9
無回答	10	1.1	10	1.1
合計	876	100.0	939	100.0



市民の3人に2人が、人権問題の勉強会等に参加していない！

「過去1年間に、人権問題に関する勉強会等に参加したか」という問いに対して、「何ども参加した」または「一度は参加した」と回答された方の割合は32.0%でした。

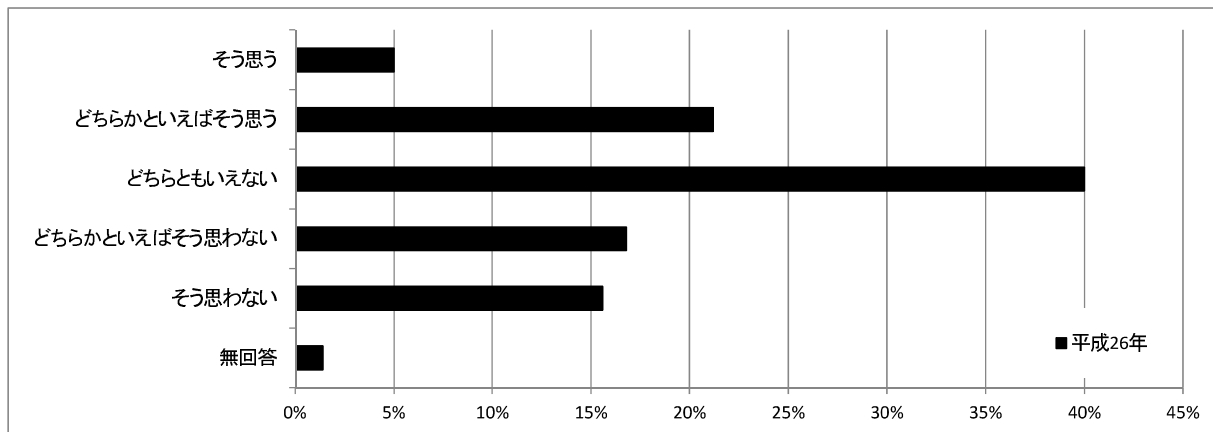
一方、59.9%の方が「参加していない」と回答されており、「参加したかったができなかった」と回答された方を含めると、「参加していない」と答えた方は、昨年度調査より約2ポイント増加して68.0%となり、約3人に2人が勉強会に参加していないこととなります。

II アンケート調査結果

19

あなたは、南丹市が住民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思いますか。

選 択 肢	-		平成26年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	0	0.0	47	5.0
どちらかといえばそう思う	0	0.0	199	21.2
どちらともいえない	0	0.0	376	40.0
どちらかといえばそう思わない	0	0.0	158	16.8
そう思わない	0	0.0	146	15.6
無回答	0	0.0	13	1.4
合計	0	0.0	939	100.0



市民の約3分の1が協働に取り組まれていないと感じている！

「南丹市では住民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思うか」という質問に対して、「そう思う」と回答された方はわずか5.0%で、「どちらかといえばそう思う」を加えても26.2%にしかありませんでした。

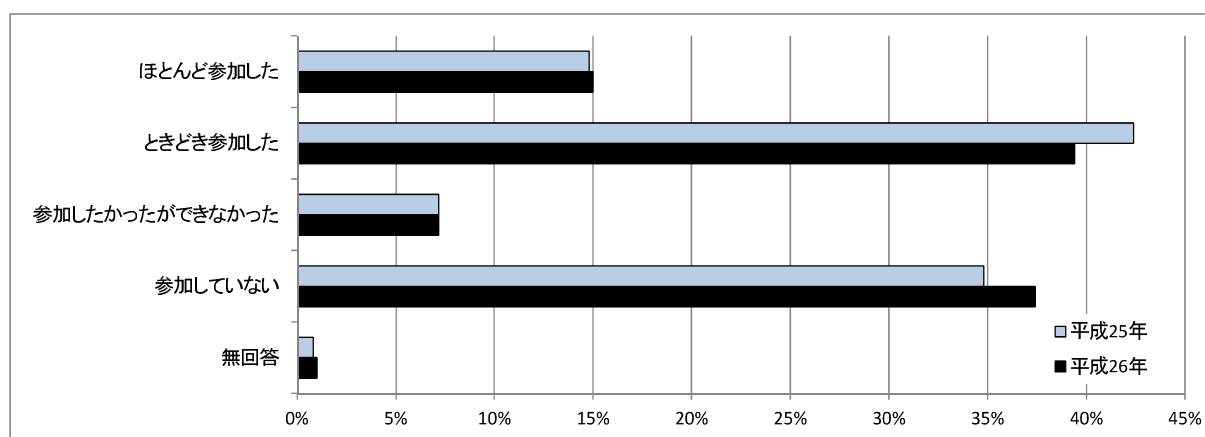
一方、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と回答された方は32.4%と、「思う」と回答された方よりも6.2ポイント多い結果となりました。

II アンケート調査結果

20

過去1年間で、地域における様々な活動や、市民による自主的な活動に参加されたことはありますか。

選 択 肢	平成25年		平成26年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
ほとんど参加した	130	14.8	141	15.0
ときどき参加した	371	42.4	370	39.4
参加したかったができなかった	63	7.2	68	7.2
参加していない	305	34.8	351	37.4
無回答	7	0.8	9	1.0
合計	876	100.0	939	100.0



市民の半数以上が、地域活動に参加されている！

「過去1年間で、地域におけるさまざまな活動や、市民における自主的な活動に参加したか」という問いに対して、15%の方が「ほとんど参加した」と回答されており、「ときどき参加した」と回答された方を加えると54.4%になりました。

一方で、「参加していない」と回答された方は37.4%で、平成25年度調査に比べ2.5ポイント増加しています。

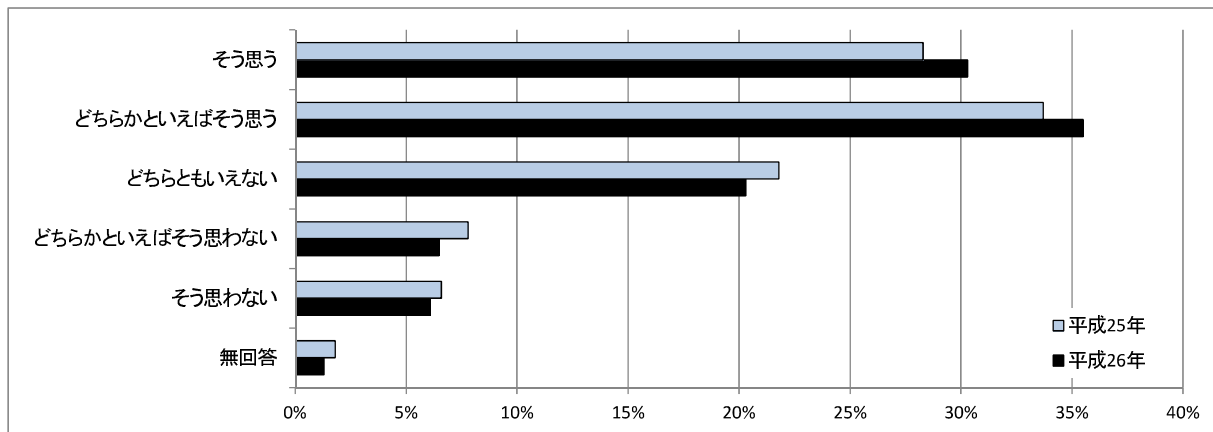
年齢別に見ると、60歳代の方が64.4%と、最も多く地域活動に参加されている結果となりました。

II アンケート調査結果

21

地域で培われてきた風俗や伝統、文化などについて、自分たちが引き継いでいかなければならないと思いますか。

選 択 肢	平成25年		平成26年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	248	28.3	285	30.3
どちらかといえばそう思う	295	33.7	333	35.5
どちらともいえない	191	21.8	191	20.3
どちらかといえばそう思わない	68	7.8	61	6.5
そう思わない	58	6.6	57	6.1
無回答	16	1.8	12	1.3
合計	876	100.0	939	100.0



市民の3人に2人が、伝統や文化を引き継ぐ気持ちがある！

「地域で培われてきた風俗や伝統、文化などについて、自分たちが引き継いでいかなければならないかと思うか」という問いでは、平成25年度調査よりも3.8ポイント増え、65.8%の方が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と答えています。

一方、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と答えた方は、H25年度調査よりも1.8ポイント減少し12.6%でした。

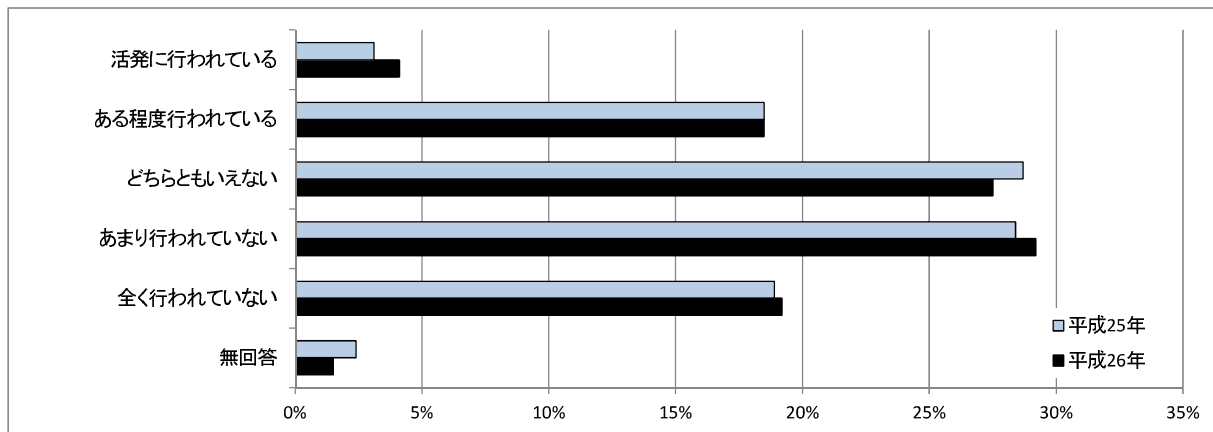
地域別では、78.0%と美山が最も高く、次に園部の64.6%、日吉の62.9%、八木の60.4%という結果でした。

II アンケート調査結果

22

自分の住んでいる地域において、大学などとさまざまな分野において、交流・連携が活発に行われていると思われますか。

選 択 肢	平成25年		平成26年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
活発に行われている	27	3.1	39	4.1
ある程度行われている	162	18.5	174	18.5
どちらともいえない	251	28.7	258	27.5
あまり行われていない	249	28.4	274	29.2
全く行われていない	166	18.9	180	19.2
無回答	21	2.4	14	1.5
合計	876	100.0	939	100.0



市民の約半数が、大学等との連携が行われていないと感じている！

「自分の住んでいる地域において、大学などとさまざまな分野において、交流・連携が活発に行われているか」という問いに対し、22.2%の方が「活発に行われている」または「ある程度行われている」と回答されており、平成25年度調査とほぼ同じ結果となりました。

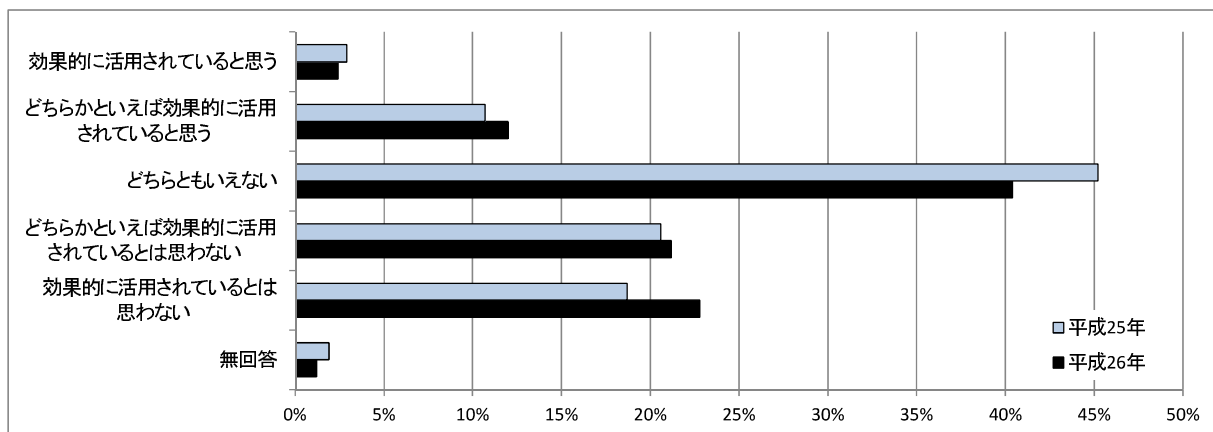
地域別では、美山が46.9%と最も高く、次に日吉の22.0%、園部の19.0%、八木の9.2%という結果でした。

一方、「全く行われていない」または「あまり行われていない」と回答した方も、平成25年度調査とほぼ変わらず48.4%でした。

23

市民の税金がまちづくりに効果的に活用されていると思われませんか。

選 択 肢	平成25年		平成26年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
効果的に活用されていると思う	25	2.9	23	2.4
どちらかといえば効果的に活用されていると思う	94	10.7	113	12.0
どちらともいえない	396	45.2	379	40.4
どちらかといえば効果的に活用されているとは思わない	180	20.6	199	21.2
効果的に活用されているとは思わない	164	18.7	214	22.8
無回答	17	1.9	11	1.2
合計	876	100.0	939	100.0



約4割が市民の税金を効果的に使っていないと考えている！

「市民の税金がまちづくりに効果的に活用されているか」という問いでは、「効果的に活用されている」と答えた方は2.4%で、「どちらかといえば効果的に使われている」を含めても14.4%しかありませんでした。

一方、「効果的に活用されていない」と答えた方は、平成25年度調査よりも4.1ポイント増え22.8%に、また「どちらかといえば効果的に活用されていない」をあわせると44.0%と全体の約4割にあたります。

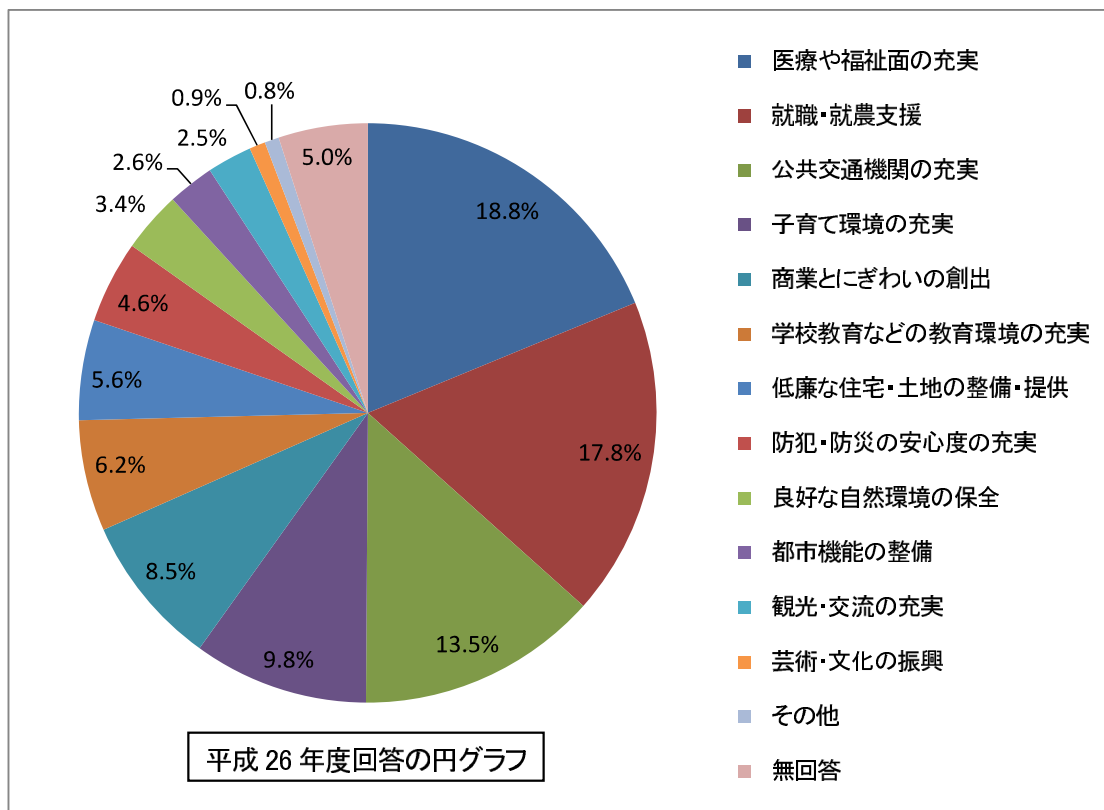
なお、「どちらともいえない」とする回答が40.4%もあることも特徴的です。

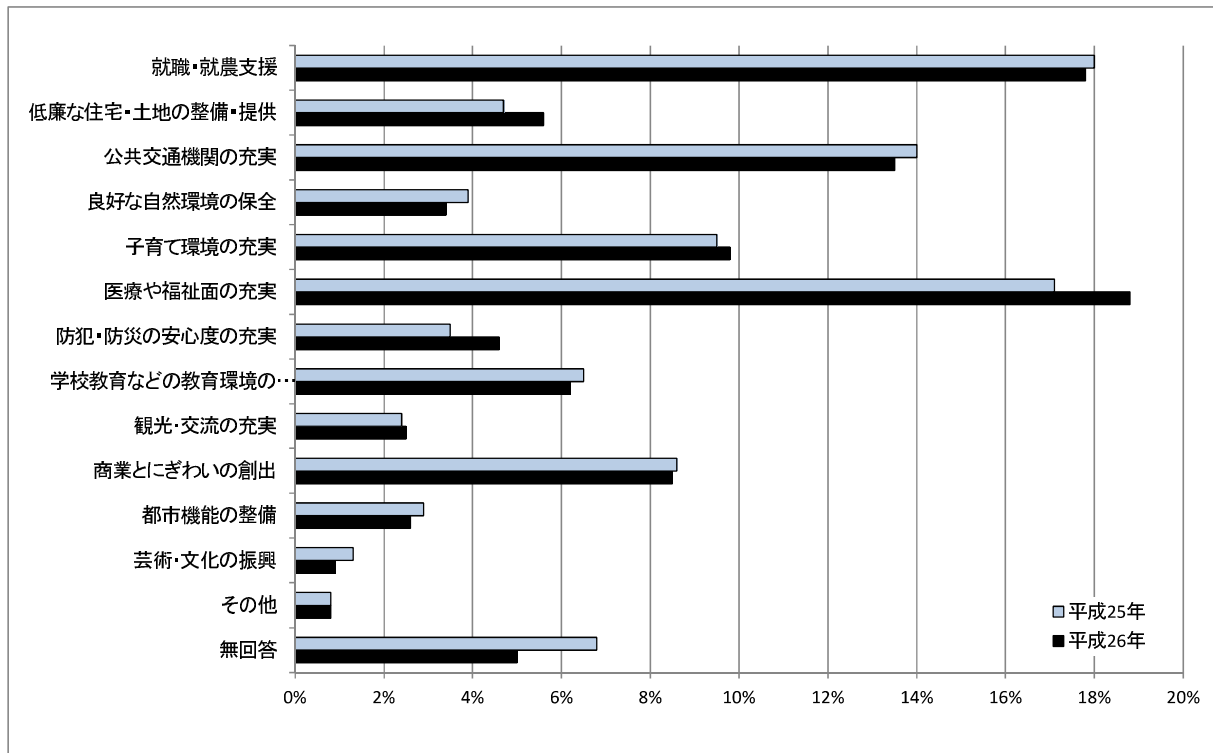
アンケート調査結果

24

南丹市への定住を促進するためには、どのようなことに力を入れるべきとお考えですか <<3つ選択>>

選 択 肢	平成25年		平成26年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
就職・就農支援	470	18.0	502	17.8
低廉な住宅・土地の整備・提供	122	4.7	158	5.6
公共交通機関の充実	365	14.0	379	13.5
良好な自然環境の保全	102	3.9	97	3.4
子育て環境の充実	248	9.5	275	9.8
医療や福祉面の充実	448	17.1	530	18.8
防犯・防災の安心度の充実	93	3.5	129	4.6
学校教育などの教育環境の充実	169	6.5	176	6.2
観光・交流の充実	64	2.4	71	2.5
商業とにぎわいの創出	225	8.6	238	8.5
都市機能の整備	77	2.9	73	2.6
芸術・文化の振興	34	1.3	25	0.9
その他	20	0.8	22	0.8
無回答	178	6.8	142	5.0
合計	2,615	100.0	2,817	100.0





定住を促進するために力を入れるべきことは！

平成25年度調査で2番目だった「医療や福祉面の充実」が18.8%と最も高く、次に「就職・就農支援」（17.8%）、「公共交通機関の充実」（13.5%）と続き、上位3つで50%を超える状況です。

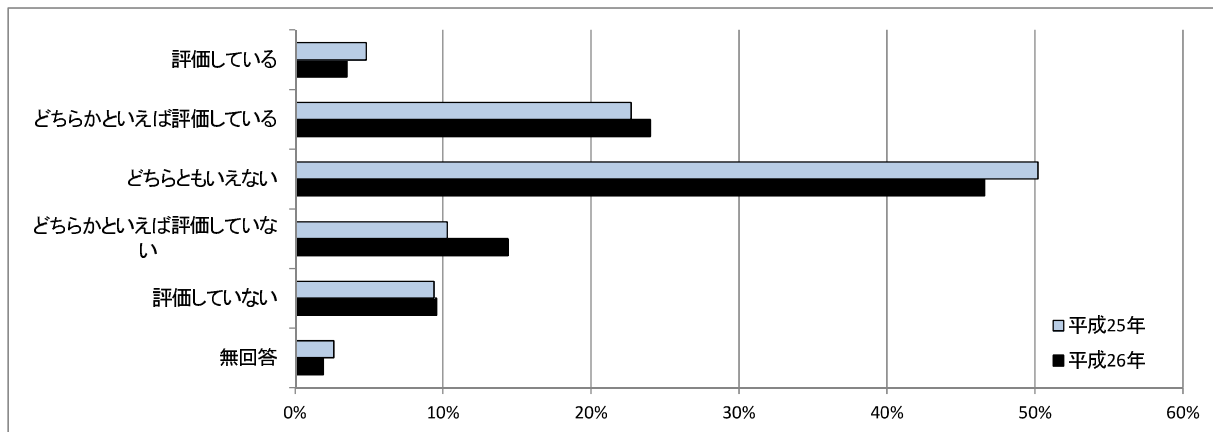
地域別に見ると、園部、八木、日吉では「医療や福祉面の充実」が最も高く、美山では「就職・就農支援」が最も高くなりました。

年代別に見ると、10歳代、20歳代、40歳代、50歳代では「就職・就農支援」が最も高く、30歳代、60歳代、70歳代では「医療や福祉面の充実」が最も高くなっています。

25

総合的に見て、南丹市が行っている市政運営をどう評価されますか。

選 択 肢	平成25年		平成26年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
評価している	42	4.8	33	3.5
どちらかといえば評価している	199	22.7	225	24.0
どちらともいえない	440	50.2	438	46.6
どちらかといえば評価していない	90	10.3	135	14.4
評価していない	82	9.4	90	9.6
無回答	23	2.6	18	1.9
合計	876	100.0	939	100.0



サービスを評価している人もしていない人もおよそ4分の1

「総合的にみて、南丹市が行っている市政運営をどう評価するか」という問いでは、「評価している」と回答した方はわずか3.5%で、「どちらかといえば評価している」と回答された方を含めて27.5%という状況です。

一方で、「評価していない」と回答された方は9.6%で、「どちらかといえば評価していない」と回答された方を含めると24.0%となり、「評価している」と回答された方とほぼ同数となっています。

26

南丹市が行っている市政運営を評価できない理由

問25で「4. どちらかといえば評価していない」「5. 評価していない」を選んだ方に、どのような点が評価できないかを聞きました。

いただいたご意見の主なものは下記のとおりです。

- ファミリーレストランなど若者がふれあう場所が無い点
- 住宅地の道路やバイパスなど道路整備が進んでいない場所がある点
- 住宅改修助成制度が無い点
- 中心玄関となる園部駅周辺整備が進んでいない点
- JR八木駅の整備が進んでいない点
- バスなど、公共交通機関が十分でない点
- 若者の定住推進政策が進んでいない点
- 企業誘致、田舎暮らし体験など人が集まる政策が進んでいない点
- 住民税の減税など、定住と子育て世代に対する政策が充実していない点
- 各支所の権限強化など魅力ある地域づくり競争が図れていない点
- エネルギー自給率の向上が図れていない点
- U P Zの屋内避難の促進と対策が進んでいない点

27

南丹市のまちづくりに対する提案・意見

まちづくりに対して、提案やご意見をお聞きしましたところ、283件のご意見をいただきました。主なご意見の内容は次のとおりです。

- | | |
|-------------------------------|-----|
| ● 地域間（旧町間）の格差是正に関するご意見、ご提案 | 31件 |
| ● 政策の方向性に関するご意見、ご提案 | 29件 |
| ● 定住促進、少子高齢化・過疎化対策に関するご意見、ご提案 | 20件 |
| ● 広報、情報発信および広聴に関するご意見、ご提案 | 19件 |
| ● 地域公共交通の整備、駅舎改築に関するご意見、ご提案 | 18件 |
| ● 道路整備に関するご意見、ご提案 | 14件 |
| ● 小学校の統廃合に関するご意見、ご提案 | 13件 |
| ● 市街地整備、商店街の活性化に関するご意見、ご提案 | 12件 |
| ● 健康・福祉・医療の充実に関するご意見、ご提案 | 11件 |
| ● 職員の住民対応、体制、心構えに関するご意見、ご提案 | 11件 |
| ● 財政運営に関するご意見、ご提案 | 10件 |
| ● 農林業の振興に関するご意見、ご提案 | 5件 |
| ● その他 | 45件 |

— 平成26年度 —
まちづくりを積極的に進めるための
市民意識調査

調査協力をお願い


平素は、南丹市のまちづくりにご理解とご協力をいただきありがとうございます。

現在、南丹市では、「南丹市総合振興計画後期基本計画（平成25年度～の後期5カ年）」に基づきまちづくりを積極的に進めているところです。

この度、南丹市のまちづくりを、より効果的に進めていくため、無作為で選ばせていただいた市民の皆さんに、まちづくりに対する実感や思い、お考えをお伺いいたしたくアンケートを郵送させていただきました。

アンケート結果は、個別に公表するものではなく、統計的に処理した上で今後の南丹市の発展のための参考資料として活用しますので、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

平成26年 5月

南丹市長 

- この調査にご記入いただいた内容は、統計的に処理を行い、調査の目的以外に使用することは一切ございません。
- 宛名のご本人が、ご自身の実感や思い、また考えに基づいて市民意識調査(アンケート)に、ご回答ください。ご本人の記入が難しい場合は、家族の方などがご本人の立場で、意思を反映してご記入をお願いします。
- ご記入いただいた調査票は、**6月30日(月)まで**に、同封の返信用封筒に入れてご返送ください。**切手は不要です。**
- 調査結果は、南丹市ホームページ (<http://www.city.nantan.kyoto.jp>) などで公表します。

この調査に関するお問い合わせ先

南丹市 企画調整課 企画係 TEL (0771)68-0065 / FAX 63-0653

各質問をお読みいただき、ご自身の率直なお気持ちやお考えに最も近い答えをひとつ選び、番号に○印をつけてください。

まず、あなたご自身についてお教えてください。(統計結果の分析に活用させていただきます。)

性別	1. 男性	2. 女性		
年齢	1. 18~19歳	2. 20~29歳	3. 30~39歳	4. 40~49歳
	5. 50~59歳	6. 60~69歳	7. 70歳以上	
住所	1. 園部町	2. 八木町	3. 日吉町	4. 美山町
職業	1. 自営業・農林漁業	2. 会社員・公務員など	3. 学生	4. 家事専業
	5. パート・アルバイト	6. 無職	7. その他()	
居住年数	1. 1年未満	2. 1~4年	3. 5~9年	4. 10~14年
	5. 15~19年	6. 20年以上		

南丹市全般についてお聞きます。



問1 あなたは、南丹市が住みやすいまちだと思いますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

問2 あなたは、今後も南丹市に住み続けたいですか。

1. ずっと住み続けたい
2. 当分は住み続けたい
3. いずれ市外に転居したい
4. すぐに市外に転居したい
5. わからない

医療・福祉についてお聞きます。



問3 あなたは、南丹市において、安心して医療を受けられる体制ができていると思えますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

問4 あなたは、南丹市が高齢者にとって、安心して暮らせるまちだと思われませんか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

問5 あなたは、南丹市が障がいのある方にとって、安心して暮らせるまちだと思われませんか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

子育てについてお聞きます。



問6 あなたは、南丹市が安心して子育てのできるまちだと思われませんか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

問7 あなたは、子どもたちが、児童数や生徒数、施設の状況も踏まえ、適切な教育環境で学んでいると思われませんか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

問8 あなたは、保育所や幼稚園などで行われている乳幼児への保育・教育が、充実していると思われませんか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

商業や生活環境についてお聞きします。



問9 あなたは、南丹市の商店街（商業）がにぎわっていると思われますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

問10 あなたは、南丹市で生産された野菜や加工品などの産品を意識して購入されていますか。

1. そうしている
2. どちらかといえばそうしている
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそうしていない
5. そうしていない

問11 あなたは、南丹市において、自然環境が適切に守られていると思われますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

問12 あなたは、南丹市において、美しい風景や町並みを守るため、個人などが新築、増改築する建築物や工作物の色や高さに規制を設けるべきだと思われますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

問13 あなたは、南丹市が発行する広報誌やホームページ、CATVなどを通じて、市政について情報が的確に得られていると感じられますか。

1. 得られている
2. どちらかといえば得られている
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば得られていない
5. 得られていない

防災や防犯についてお聞きします。



問 14 あなたは、災害に関する情報について、市からの確に発信される体制が整備されていると思われませんか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

問 15 あなたは、台風や地震などの災害にそなえて、避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備などをされていますか。

1. つねに避難できるよう準備している
2. ある程度準備している
3. 意識はしているが、準備はしていない
4. まったく準備していない

問 16 あなたは、南丹市が防災の面で、安心して暮らせるまちだと思われませんか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

社会問題についてお聞きします。



問 17 世の中には、まだまだ性別や国籍、身体的障がいなどによる差別が残っていますが、あなたは、近年南丹市において、これら差別が減ってきていると感じられますか。

1. 減ってきていると感じる
2. 多少減ってきていると感じる
3. どちらともいえない
4. あまり減ってきているとは思えない
5. 減ってきてはいない

問 18 あなたは、過去 1 年間に、人権問題に関する勉強会、学習会、講演会、セミナーなどに参加されたことがありますか。

1. 何度も参加したことがある
2. 一度は参加したことがある
3. 参加したかったができなかった
4. 参加していない

地域活動についてお聞きます。



問 19 あなたは、南丹市が住民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思われませんか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

問 20 あなたは、過去 1 年間で、地域におけるさまざまな活動や、市民による自主的な活動に参加されたことがありますか。

1. ほとんど参加した
2. ときどき参加した
3. 参加したかったができなかった
4. 参加していない

問 21 あなたは、地域で培われてきた風俗や伝統、文化などについて、ご自分たちが引き継いでいかなければならないと思われませんか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

問 22 あなたは、ご自分の住んでいる地域において、大学などとさまざまな分野において、交流・連携が活発に行われていると思われませんか。

1. 活発に行われている
2. ある程度行われている
3. どちらともいえない
4. あまり行われていない
5. 全く行われていない

行政活動についてお聞きます。



問 23 あなたは、市民の税金がまちづくりに効果的に活用されていると思われませんか。

1. 効果的に活用されていると思う
2. どちらかといえば効果的に活用されていると思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば効果的に活用されているとは思わない
5. 効果的に活用されているとは思わない

問 24 あなたは、南丹市への定住を促進するためには、どのようなことに力を入れるべきとお考えですか？ <主なものを3つまで選んでください>

1. 就職・就農支援
2. 低廉な住宅・土地の整備・提供
3. 公共交通機関の充実
4. 良好な自然環境の保全
5. 子育て環境の充実
6. 医療や福祉面の充実
7. 防犯・防災の安心度の充実
8. 学校教育などの教育環境の充実
9. 観光・交流の充実
10. 商業とにぎわいの創出
11. 都市機能の整備
12. 芸術・文化の振興
13. その他（ ）

問 25 あなたは、総合的に見て、南丹市が行っている市政運営をどう評価されますか。

1. 評価している
2. どちらかといえば評価している
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば評価していない
5. 評価していない

上記の間で、4または5とお答えになった方にお伺いします。どのような点を評価していないですか。具体的にお教えください。

南丹市のまちづくりに対するご提案や、ご意見をお聞かせください。
※この調査の性格上、頂いたご意見に対し、個別の回答はいたしかねますのでご了承ください。

**アンケートは以上です。
お忙しいところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。**